

平野啓一郎

講演会

「他者を愛し、
自己を愛する。」

二〇一九年一月二十日（日）午後二時～四時

富田林市立中央公民館

平野 啓一郎 (小説家)



撮影 瀧本幹也

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。
1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。

以後、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。
2004年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在。
2008年からは、三島由紀夫文学賞選考委員を務めている。
美術、音楽にも造詣が深く、幅広いジャンルで批評を執筆。
2008年から2017年まで東川写真賞の審査員を務めた。
また、2009年から2016年まで日本経済新聞の「アートレビュー」欄を担当した。
2014年には、国立西洋美術館のゲスト・キュレーターとして
「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」展を開催。
同年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。
また、2016年には、マルタ・アルゲリッチ×広島交響楽団の「平和の夕べ」コンサートに、
アニー・デットワ氏と朗読者として参加した。

著書は小説、『葬送』『滴り落ちる時計たちの波紋』『決壊』（芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞）
『ドーン』（ドゥマゴ文学賞受賞）『かたちだけの愛』『空白を満たささい』、
『透明な迷宮』『マチネの終わりに』（20万部突破/渡辺淳一文学賞受賞）、
エッセイ・対談集に『私とは何か「個人」から「分人」へ』
『生命力』の行方～変わりゆく世界と分人主義』『考える葦』等がある。

2018年9月に新作長編小説『ある男』を刊行。新たな傑作の誕生、この評判も高い。
福山雅治・石田ゆり子主演で『マチネの終わりに』が映画化され、2019年秋公開。

平野 啓一郎 講演会

「他者を愛し、自己を愛する。」

富田林市中央公民館クラブ連絡会設立 45 周年記念事業

<愛とは、他者のおかげで、自分を愛することができるようになること。>

富田林市中央公民館クラブ連絡会は平成 30 年度に設立 45 周年を迎えました。この記念すべき年に、
小説家・平野啓一郎さんをお迎えして、『マチネの終わりに』や『ある男』を中心に、全ての愛情の源泉である「自己愛」、
そして自身の作品や、現代における愛のかたちについて語っていただきます。

◎日時：2019年1月20日 日曜日 13:15 開場

◎会場：富田林市立中央公民館 2階ホール

◎定員：120名（クラブ員枠70名、一般枠50名）

◎手話通訳あり

◎入場無料

■ プログラム（内容や時間は変更することもあります）

14:00 あいさつ

14:03 講演会

15:00 質疑応答

15:15 作家本人を前にしてのビブリオバトル

■ ビブリオバトル発表者について

発表テーマ「平野本ならコレ！」

- ①オススメの平野作品を持って集まる。
- ②一人5分間で本を紹介する。
- ③発表した本について質疑応答（2分程度）
- ④参加者の拍手でチャンプ本を決定。

参加ご希望の方は12月1日（土）～9日（日）までの間に
tondabiblio@gmail.com までお申し込みください。
定員4名。定員を超えた場合は抽選になります。
※ビブリオ発表者は講演会に優先的に参加できます。

■ 一般枠参加のお申し込み方法

往復はがきに、必要事項をご記入の上、お申し込みください。
公民館でお申し込みの場合には、通常はがきをご持参ください。
12月1日（土）受付開始、12月20日（木）必着。
定員を超えた場合は抽選、結果は返信はがきでお知らせします。

< 往信表面 >	< 返信表面 >	< 返信表面 >	< 返信裏面 >
往 往信はがき 5 8 4 0 0 9 3 62円 中央公民館 講演会係 富田林市本町16-28	く 書 な だ か に さ け い も い で	返 返信はがき 62円 あなたの氏名 あなたの住所	①講演会名 ②あなたの氏名(ふりがな) ③あなたの住所 ④電話番号(携帯可) ⑤年齢(～歳代可)・性別

富田林市中央公民館クラブ連絡会は
富田林市立中央公民館で活動する
全46クラブによる団体です。

つどう
かたらう
まなぶ
ひとをたかめ
じぶんをたかめる

設立45周年を迎えることができました。
今後ともよろしくお願いたします。

